

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	2372300901
法人名	社会福祉法人樹の里
事業所名	グループホーム樹の里
訪問調査日	平成 20 年 7 月 12 日
評価確定日	平成 20 年 10 月 15 日
評価機関名	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 施設福祉部

#### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月23日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2372300901		
法人名	社会福祉法人樹の里		
事業所名	グループホーム樹の里		
所在地	愛知県瀬戸市紺屋田町93-106 (電話) 0561-89-7211		
評価機関名	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 施設福祉部		
所在地	名古屋市中区丸の内2-4-7		
訪問調査日	平成20年7月12日	評価確定日	平成20年10月15日

## 【情報提供票より】 (平成20年6月14日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 6人, 非常勤 3人, 常勤換算 6.28人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4階建ての ~ 1階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	41,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( ) 円 (無)			
保証金の有無(入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	150 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(平成20年7月12日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	76 歳	最高	99 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人青和会中央病院 山中歯科		
---------	------------------	--	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

丘の上の緑に囲まれた4階建ての建物で、特別養護老人ホームとデイサービスに併設されたグループホームである。入居者が花壇に花を咲かせており、暖かな雰囲気を感じさせている。共有スペースの周りに居室9室、トイレ3箇所、職員室がある。居室は洋室と障子と畳となっており、居室から外へ出られるようになっており、緊急避難しやすくなっている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	理念を家族や入居者に分かりやすくするため「努力、誠実、感謝」に変更し家族、入居者から好評を得ると共に職員間で共有し実践している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	定例会議等で職員全員に自己評価、外部評価を実施する意義を理解する機会と位置づけ、評価結果に関する改善の提案について具体的に意見を出し合い、評価を活かした改善に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、ホームでの生活状況、特に観桜会や園芸活動をパワーポイントで紹介したところ、具体的に写真など視覚からの情報提供が大変好評を得ると同時に入居者、家族、委員から、サービス向上に向けての意見が出され、ホーム運営の改善につなげている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	入居者本人の日常生活、園芸、買い物、喫茶店、観桜会等の状況を面会時に報告している。特に運営推進会議では、パワーポイントを活用した報告会にしたところ、視覚からの情報提供で家族、入居者、委員から意見が出され、グループホームの運営に反映されている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	隣接幼稚園の行事に参加したり、中学生の職場体験を受け入れている。多くのボランティアの方の参加もあり、夏まつり、文化祭、観桜会等に参加を呼びかけ交流を図っている。市役所、地域の方の参加を得て2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。

## 2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との交流を大切にし、地域に根ざした理念を再構築し、その人らしく暮らし続けることを支えていく理念を作成している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を「努力、誠実、感謝」としたことにより、入居者、家族から分かりやすいと好評となった。共有場所の目につきやすい場所に掲示し、日々実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣接幼稚園の行事に参加したり、中学生の職場体験の受入やボランティアの受入をしている。地域の方に夏まつり、観桜会、文化祭等の行事参加を呼びかけ、地元の人々と交流するように努めている。		
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	月1回の定例会等で職員全員に自己評価、外部評価を実施する意義を理解する機会と位置づけ、評価結果に関する改善の提案について具体的に意見を出し合い、評価を活かした改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。入居者やサービスの実際を、今回はパワーポイントを活用し、視覚を通して報告したことにより話し合いも活発となり、サービス向上に繋がっている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員を受入れ実施している。管理者が市役所へ行き来し、市の担当者に制度、運営に関する事など相談し、質の向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時には入居者本人の近況報告及び金銭確認を月1回行っている。面会できない家族に対しては月1回手紙等で報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議等を家族の要望や提案を出していただける場としている。また、「意見箱」を設置し、意見を出しやすい状況とし、それらを運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職や異動がある時は、あいさつやケースの引継ぎを行い、残った職員でフォローし、入居者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の経営計画書で年間の研修が企画作成されており、必要な研修には参加している。グループホーム独自で月1回研修を企画し、独自の研修の計画を発表するなど、自己啓発と知識の習得に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域内のグループホーム等との交流する機会は作られていない。	○	市内で運営されているグループホームと交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動の場を通じ、サービスの質の向上を図られることが期待される。
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の要望を聞き入れ、事前見学を勧め、本人、家族が納得し職員やホームの雰囲気徐々に馴染めるよう支援している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	園芸、洗濯、調理、干し柿作りなど本人の得意とすることを職員と一緒にしている。野菜作りでは昼食の一品として料理し、本人へ感謝の言葉が交わされている。ゆとりの時間を大切にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望や意向等の把握に努めている。本人の意思を尊重し、趣味や本人本位の生活ができるよう努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族のニーズを引き出し、サービス担当者会議でそれぞれの意見、アイデアを出し合い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、3ヶ月毎に実施している。毎月のケース会議において、職員の気づきや提案、状況の変化に応じて柔軟に介護計画の見直しを行い、新たな計画を作成している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、例えば通院時の付き添いや外出、食事、喫茶店など柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院の医師との関係も良好で、いろいろと相談でき、適切な医療が受けられる体制が作られている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、入所時に家族に説明すると共に、職員間で方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	施設内研修により、プライバシー保護への意識を高めている。日々業務の中で言葉かけや対応、記録等個人情報の取り扱いに注意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の日課や役割、食事の準備、後片付け、洗濯物干し、園芸等一人ひとりのペースを大切に、日常生活への支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、盛り付け、片付け等職員と共に一人ひとりの能力に応じて支援している。献立は入居者の意見を反映している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できる。本人の意向により、回数、順序、入浴時間等柔軟に対応している。菖蒲湯、柚湯など季節感を感じるよう工夫し、入浴を楽しめるように支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの日課や役割を活かした楽しみごとなどその人の趣味活動への支援をしている。法人内の行事やボランティアの協力により、楽しみのある機会を設けている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、喫茶店、ドライブ、散歩、園芸等入居者の希望に応じて戸外に出かけられるよう支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯以外の理由で鍵をかける行為は行っていない。研修を通じて職員が鍵をかけることの弊害について理解を得るよう取り組んでいる。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年4回法人内で昼間、夜間の災害訓練を実施している。法人内は、市の避難場所として指定されており、地域の代表者と協力について話し合いを行っている。地区住民への周知も役員を通して働きかけている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取表により、一人ひとりの食べる量や水分摂取量を確認している。栄養バランス等は法人内の管理栄養士から助言を受けている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、季節の花を飾りつけたり、入居者が作成した壁面飾り等掲示し、居心地の良い空間となるよう工夫されている。テレビの音量や照明の調節をしたり、新聞等いつでも見られるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、畳や窓ガラス及び障子の併用で居心地よく、また、使い慣れた家具類の持込により過ごし易い居室となるよう工夫されている。		

※  は、重点項目。